

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

「石川県立大学が入学者に期待するもの」

石川県立大学は平成17年4月に誕生した希望にあふれる大学です。小さな大学ですが、全国的にも特徴のある「生物資源環境学部」を持つ、きらりと光る大学です。大学の理念として、①高度化・国際化を目指す教育研究、②未来を切り拓く有為な人材の育成、③地域における社会・経済の発展や文化の創造、④知的資源を活用した国際社会への貢献を掲げています。

20世紀は、化石エネルギー、鉱物資源などを、大量に使って豊かになった工業化社会でしたが、21世紀は持続可能な循環型社会が望ましいと考えられています。これには、生物資源が大きな働きをします。

石川県立大学では、この生物資源に関する専門的な教育研究を行い、将来、社会の変動にも対応できる基礎学力と創造力のある学生を育て、社会に貢献するとともに、研究成果を社会に向けて発信したいと考えています。

このために、①国際化・情報化に対応できる外国語・情報処理能力、②高度な専門的知識・能力・技術力、③自ら課題を求め解決できる能力、④高い倫理観、豊かな人間性の養成に努めます。

現在、金沢市郊外の緑豊かな野々市市に、充実した教育研究施設を整備し、優秀な教授陣が皆さんの入学を待っています。学生諸君には、真理探究の喜びと感動、学ぶ楽しさを身に付けて社会に巣立って頂きたいと考えます。

受験生の皆さん、このような理想を掲げ、以下の3学科と研究所を持つ、この石川県立大学で学んでみませんか。また、3学科での学びをもとに、大学院(生物資源環境学研究科)へ進み、未知の世界を探究し、自分の夢を実現してみませんか。

(1) 「生産科学科」入学者に期待するもの

動植物を中心とした多様な生物資源の生理・生態を、集団・個体のレベルから細胞・分子・遺伝子のレベルで解明し、バイオテクノロジーなどの先端技術を活用した育種・生産技術や生物資源の機能開発とその経済的評価に重点を置いた教育研究を行います。このために、**理数系特に生物学を得意とし、「新しい生物生産」に興味を持つ学生を求めます。**

(2) 「環境科学科」入学者に期待するもの

土地・水・大気などの環境資源や生物資源と人間活動の関わりを解明し、自然の理解を深め、自然と人間の共生を目指します。さらに、地域の生産・生活、自然環境の保全・修復・改良の理念とそのための技術の習得を目指します。このために、**広く理数系を得意とし、「人間活動と自然環境の調和」に興味を持つ学生を求めます。**

(3) 「食品科学科」入学者に期待するもの

バイオテクノロジーなどの先端技術を活用した食品の製造・加工・流通技術の開発を行うとともに、食品の安全性・機能性を解明し、食を通じた健康の維持増進に関する教育研究を行います。このために、**理数系特に化学を得意とし、「食と健康・安全」に興味を持つ学生を求めます。**

なお、以上の3学科の基礎を分担する生物資源工学研究所が設けられています。ここでは、植物・微生物などの生命現象を遺伝子レベルで解明する基礎研究をベースに、有用遺伝子の高度化、環境浄化などの技術開発を行います。